

# 「仙台市経済成長戦略2023」の体系に基づく 令和5年度 仙台市経済局の主要な取り組み

## 「新型コロナウイルス感染症対策プロジェクト2」

### 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

※令和5年度組織改正により、産業振興課の一部は「スタートアップ支援課」「企業立地課」になります。  
以下の各事業には令和5年度の課名を記載しています。

## 施策① 前向きな投資やチャレンジへの支援

---

- プロフェッショナル人材活用による中小企業の課題解決支援事業 16
- 中小企業チャレンジ補助金 17
- 地域産業応援金 18
- GX促進関連融資にかかる信用保証料補給 19
- GX促進関連融資にかかる国の利子補給事業連動型給付金 20

# プロフェッショナル人材活用による中小企業の課題解決支援事業

中小企業支援課  
(連絡先：022-214-7338)

基金

令和5年度当初予算額：27,005千円

## 事業概要

自社の経営資源だけでは経営課題の解決が難しい市内中小企業に対して、課題解決の知見・ノウハウを持つ外部のプロフェッショナル人材（※）をマッチングし、一定期間、プロ人材が当該企業の経営者等とともに課題解決に取り組むもの。本市から、プロ人材のマッチングに係る経費等を負担するとともに、本事業を通じて得られた知見をロールモデルとして広報することで、中小企業の新たな課題解決手法として普及啓発を行う。

※「プロフェッショナル人材」とは、経営者を支える右腕的存在として、企業経営や新規事業企画、生産性向上等について豊富なノウハウ・経験を持ち、企業の成長戦略を具体化できる優れたビジネススキルを持つ人材のこと。

## 事業の詳細

### 【支援の対象者】

市内に本店を置く中小企業のうち、プロ人材を活用して経営課題の解決に取り組む意欲のある者

### 【事業内容】

- 市内中小企業の抱える課題に合わせて、課題解決のスキル・ノウハウを有するプロ人材をマッチングすることができる民間事業者（人材派遣会社等）に業務を委託。
- 受託者は、支援する企業の公募・採択を行い、プロ人材を選定して、支援企業とのマッチングを行う。
- 本来、中小企業が負担するマッチング成約等に係る経費やプロ人材の交通費等（人件費を除く）を本市が負担する（金額上限あり）。
- マッチング成約後、プロ人材は、課題解決の支援を行い、受託者は、課題解決の進捗確認等のフォローアップを行う。
- 本事業の成果を周知広報し、市内中小企業の新たな課題解決の手法として普及啓発を図る。

（本事業で支援する中小企業は、プロ人材活用に係る人件費を負担する）

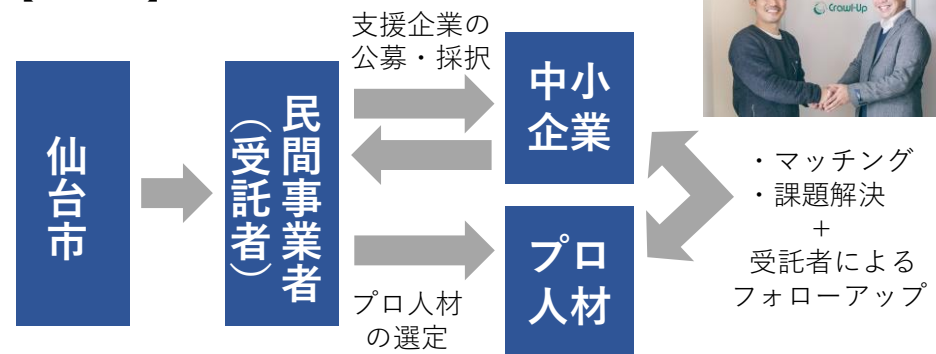
### 【目標】

支援件数：10～15社程度

### 【支援事例】

- これまでSNSを自社で運用していたが、効果が得られず社員も負担を感じていた。WEBマーケティングのプロ人材の支援により、効果的な運用手順の定着や社内の意識改革が進み、フォロワー数の増加や専門部署の設立につながった。
- コロナ禍で収益が悪化し、債務超過に陥っていたが、飲食コンサルタントのプロ人材の支援により、経営手法の見直しにつながり、黒字化への道筋ができるとともに、中長期的な視点での会社の組織体制の整備もできた。

### 【スキーム】



## 事業概要

感染症の影響による社会の変化に適応し、市内の中小企業者等が行う新たな商品やサービスの開発、新分野展開、業態転換などの前向きな取り組み（チャレンジ・チェンジ）を後押しすることを目的とした、補助金を支給する。

※令和5年度は、これまでと同様の募集（通常コース）に加えて、事業計画立案段階から支援を行うフォローアップコースを新設する。

## 事業の詳細

### 【対象者】

市内に本店を置く中小企業者等、個人事業者

### 【補助金支給額】

補助金額 50～200万円（補助率2／3または3／4）

### 【対象経費】

- 新商品、新サービスの開発に要する経費
- 建物費（建物の建築・改修に要する経費）
- 設備費、システム費
- その他事業実施に必要なと認められる経費



### 【採択事例】

- ペット市場の拡大に対応し新たに訪問ペット火葬サービスの提供を開始する新分野展開への支援
- クリーニング品の無人受け渡しを行う新サービス提供に対する支援

### 【目標】

支援件数：合計30件程度



### 【申請の流れ】

- 通常コース（4～5月公募）



- フォローアップコース（6～10月公募）



## 事業概要

感染症や原油価格・物価高騰等の影響を乗り越えるため、国の各種補助金の活用や、国・県が認定等する計画の策定等、前向きな投資や事業活動を行う市内中小企業者等に対し、その取り組みを後押しする地域産業応援金を支給する。

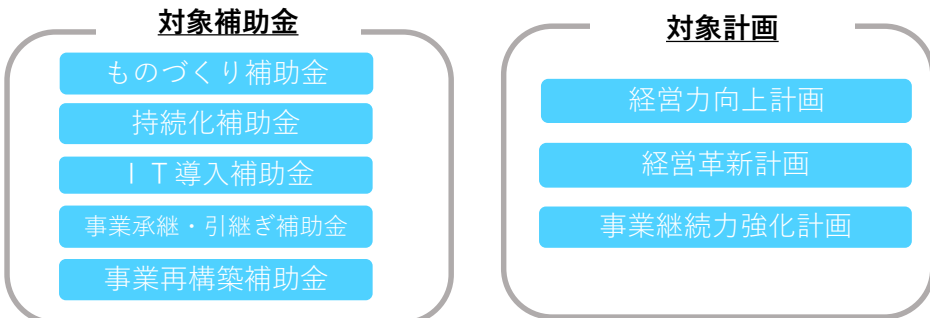
## 事業の詳細

### 【支給要件】

以下の全ての要件に該当する方

- (中小企業) 本店を仙台市内に置いていること  
(個人事業者) 住民登録が仙台市内であること  
(その他法人) 主たる事務所を仙台市内に置いていること
- 対象補助金の交付決定、対象計画の認定等を受けていること
- 市税を滞納していないこと

### 【対象補助金・対象計画】



### 【支給額】

**対象補助金**の交付決定を受けた場合、交付決定に応じて以下の金額を支給

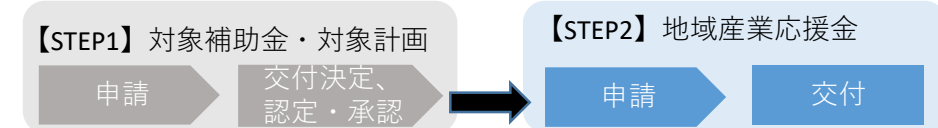
(1)基本支給額	+	(2)原油価格等加算額※1	=	総支給額
①50万円未満の場合 <span style="float: right;">10万円</span>		① <span style="color: red;">5万円</span>		① <span style="color: red;">15万円</span>
②50万円以上500万円未満の場合 <span style="float: right;">20万円</span>		② <span style="color: red;">10万円</span>		② <span style="color: red;">30万円</span>
③500万円以上の場合 <span style="float: right;">50万円</span>		③ <span style="color: red;">25万円</span>		③ <span style="color: red;">75万円</span>
④1,000万円以上の場合※2 <span style="float: right;">100万円</span>		④ <span style="color: red;">50万円</span>		④ <span style="color: red;">150万円</span>

※1 事業再構築補助金は、第6回公募以降が加算額の対象  
※2 上記④は、事業再構築補助金に限ります。

**対象計画**の認定等を受けた場合、以下の金額を支給

- ・ 経営力向上計画の認定または経営革新計画の承認を受けた場合 **10万円**
- ・ 事業継続力強化計画の認定を受け、これに基づく訓練教育を実施した場合 **5万円**

### 【申請の流れ】



### 【目標】

交付決定件数：500件以上

# G X 促進関連融資にかかる信用保証料補給

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

基金

令和5年度当初予算額：10,448千円

## 事業概要

本市制度融資（杜の都・GX促進資金）を活用して省エネ・再エネ設備投資等に取り組む中小企業に対して、宮城県信用保証協会に支払う信用保証料を補給し、資金繰り支援を行う。

## 事業の詳細

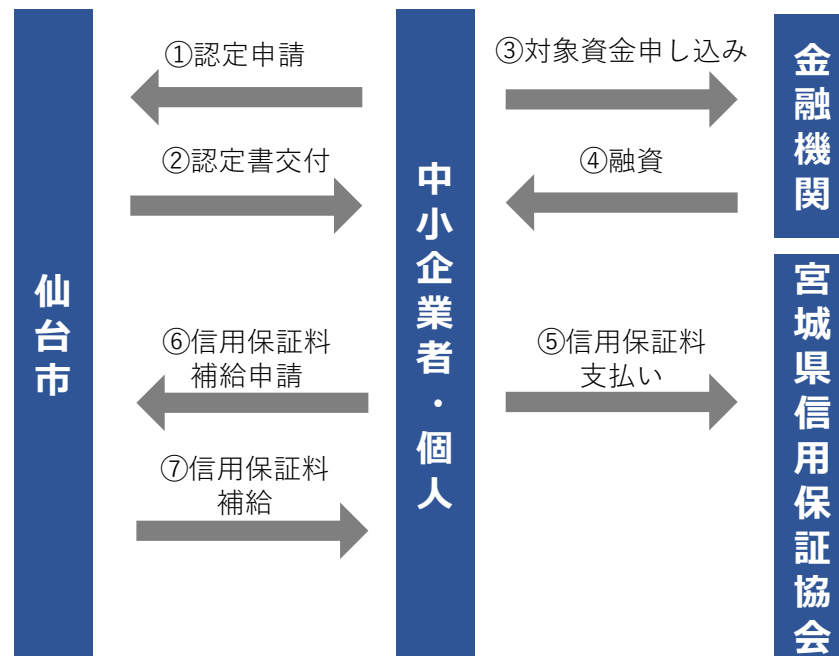
### 【対象者】

本市制度融資を活用して省エネ・再エネ設備投資等に取り組む中小企業者のうち、宮城県信用保証協会からの保証を受ける者

### 【補給対象融資】

- 杜の都・GX促進資金
  - ※地域産業活性化融資のうち、省エネ・再エネ設備投資等に係るもの
  - ※融資限度額：1億円、利率：1.0%、期間：15年（運転・設備）、保証料率：保証協会所定
  - ※補給上限額：当初支払い保証料額の 1 / 2

### 【スキーム】



※①②は経済局のほか、環境局、建設局による認定制度も対象（予定）

# G X 促進関連融資にかかる国の利子補給事業連動型給付金

中小企業支援課  
(連絡先：022-214-1003)

基金

令和5年度当初予算額：20,000千円

## 事業概要

省エネ・再エネ設備などへの投資を行う市内中小企業に対し、国の利子補給事業を活用して資金調達を行う際に、当該事業と連動した給付金を支給することにより、G X の推進や生産性向上等の支援に取り組む。

## 事業の詳細

### 【事業内容】

国が実施する利子補給事業を活用して省エネ・再エネ設備投資等に取り組む中小企業に対して、当該事業の対象融資にかかる利子の自己負担額相当分を給付金として支給する。

### 【給付金の対象となる国の利子補給事業】

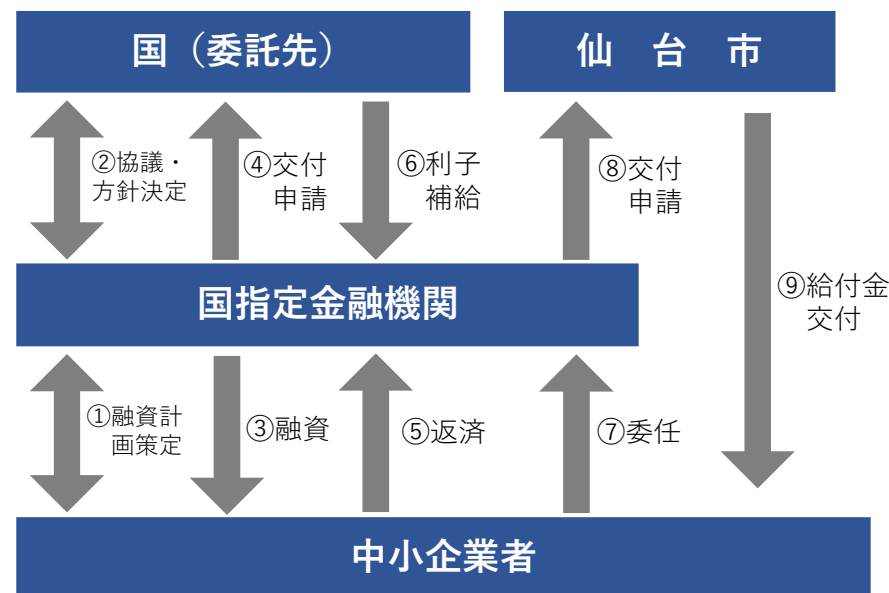
- 省エネルギー設備投資利子補給金（経産省）
- 地域脱炭素融資促進利子補給事業（環境省）

### 【給付額】

償還約定表等に定められた当初年利の5年間の利子相当額から国の利子補給相当分(最長5年間)を差し引いた額

※給付上限額：一事業者当たり500万円

### 【スキーム】



## 施策② 地域企業のデジタル化推進

---

- IT活用推進事業

22



## 事業概要

IT活用による地域の中小企業者のデジタル化を推進し、新たな市場の開拓や生産性向上などによる経営力強化に向けて、専門家による伴走支援やセミナー等を行う。また、「新しい生活様式」を踏まえた新たなビジネススタイルを支援するため、国家戦略特区に認定されている「仙台テレワークサポートデスク」を通じて、テレワーク導入を支援する。

## 事業の詳細

### 【支援内容】

啓発セミナー	身近な事例やツールの紹介を行うセミナーを開催し、ITを活用した業務のデジタル化を啓発する。
IT担当者研修	IT担当者として必要な知識・技術の習得を目指した研修を行うことで、社内のIT戦略を作成するなどIT化を率先して進められる人材を育成する。
テレワーク・デジタル化推進体験イベント	業務のデジタル化・テレワーク体験機会の提供やITツール販売企業による展示会等を開催する。
伴走型支援	啓発セミナーやIT担当者研修などを通じてIT化に前向きになった中小企業者に対して、業務課題の抽出・整理、各社に応じた経営戦略の構築、及び戦略に基づいたITツールの導入・運用について専門家がサポートを行なう。



### 【目標】

テレワークサポートデスク利用者数とイベント参加者数の合計: 500名  
利用者満足度: 80%以上

### 【スキーム】

#### 啓発セミナー

身近な活用事例やITツールの紹介

#### IT担当者研修

ITに関する知識の習得

#### デジタル化推進体験イベント

テレワーク体験機会の提供やITツール販売企業による展示会等

#### 伴走型支援

自らIT化を進めていける企業へと成長

ITを活用した業務のデジタル化・既存のビジネススタイルからの脱却

## 施策③ 各種支援施策の円滑な活用に向けた取り組み

---

- 中小企業応援窓口

24

# 中小企業応援窓口（オーエン）

（事）経営支援課（中小企業支援課）

（連絡先：022-724-1122）

令和5年度当初予算額：43,042千円

## 事業概要

感染症や原油価格・物価高騰等、中小企業者等が直面する多様な経営課題や事業変革の取組、各種補助金の申請等に対して、中小企業応援窓口（愛称：オーエン）を設置し、専門家による個別相談を行うとともに、経営に関する知識・ノウハウ等を体系的に学ぶセミナーを開催し、事業者の経営力強化を図る。

## 事業の詳細

### 【支援対象】

仙台圏の中小企業、小規模事業者等

### 【支援内容】

#### ● 個別相談

中小企業者等の相談に対し、各分野の専門家がワンストップで対応。複数の専門家によるチーム相談やセミナー後の伴走支援等も行う。

#### ● セミナー

経営に関する知識・ノウハウ等を体系的・網羅的に学ぶセミナーや、補助金の制度概要や申請のポイントを解説するセミナー等を実施。

### 【目標】

各種補助金等の獲得件数及び新規事業立上げ等の実行件数：合計300件



事業存続・事業成長

## 施策④ 商店街の活性化

---

- 頑張る商店街応援企業（再掲） 26
- 中心部商店街活性化促進事業 27

## 事業概要

商店街の一体感の形成や商店街への来街者の増加、地域内の交流促進や他地域からの交流人口の拡大を図るため、賑わい創出等につながるイベント事業や、イメージ創出を図る取り組み、個店・地域資源の魅力を発信する取り組み等を行う意欲ある商店街を支援します。

## 事業の詳細

### 【対象者】

- 商店街振興組合
- 地域商業振興を目的とする事業協同組合
- 規約等で代表者の定めがある任意の商店会
- 地域商業振興を目的とする一般社団法人

※10名以上が近接して事業を営んでおり、主に小売業、サービス業又は飲食業で構成されていること

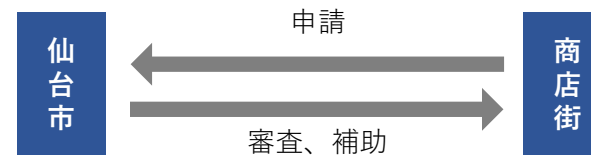
### 【対象事業及び助成率等】

商店街イベント助成事業	<b>【通常枠】</b> 対象事業：商店街が実施する賑わい創出等につながるイベント 助成額：助成対象経費の1/4以内、上限25万円
	<b>【特別枠】</b> 対象事業：商店街が実施する、売上向上、来街者増加など自らの課題解決につながる新たな取り組みを加えたイベント 助成額：助成対象経費の2/3以内、上限100万円（※） ※複数商店街が連携する場合、団体数に応じて以下の金額を加算。 2団体：30万円（計130万円）、3団体以上：60万円（計160万円）
商店街魅力向上支援事業	対象事業：商店街マップ作成、スマートフォン向けWEBサイト構築、ホームページ新設・更新、フラッグ・のぼり・看板作成等 助成率等：助成対象経費の2/3以内、上限50万円

### 【目標】

支援対象団体へのアンケートにおける「商店街活性化に資する」旨の回答割合：9割以上

### 【スキーム】



商店街イベント助成事業活用例  
(原町商店街ハロウィン2022)



商店街魅力向上支援事業活用例  
(ぶらんどーむ文化祭「一番町 仙台はじめて物語」WEBコンテンツ事業)

## 事業概要

中心部商店街における来街者増加や回遊性向上につなげるため、外部人材の新たな視点を取り入れた実証実験や人流データの取得・分析結果を活用した施策の検討を行う。

## 事業の詳細

### 中心部商店街賑わい創出実証実験事業

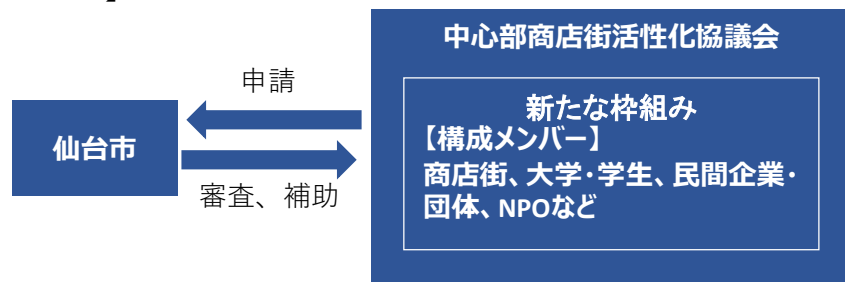
#### 【事業内容】

- 仙台市中心部商店街活性化協議会内に、様々な知見や経験を持つ外部の人材も加えた新たな枠組みを創設し、商店街の活性化につながる取り組みを検討する。
- 検討結果に基づいた実証実験を年間を通じて2件実施する。

#### 【目標】

商店街活性化につながる取り組み案作成：4件以上

#### 【スキーム】



### 中心部商店街データ活用事業

#### 【事業内容】

- 市内イベント実施時の年代、性別、居住地等を含む人流データを取得・分析し、来街者増加・回遊性向上につながる施策の検討につなげる。
- 想定されるデータ活用例
  - ・ 商店街イベントの内容改善、効果検証
  - ・ 商店街の賑わい創出につながる新たな取り組みの立案
  - ・ 商店街及び個店における新たなマーケティング・PR手法の検討

#### 【目標】

人流データ分析結果の活用案作成：3件以上

#### 【スキーム】

